



やわらぎの鐘

青梅市立第一中学校
学校だより 第25号
令和5年5月15日

振る舞い 輝く！一中生 4年ぶり青梅大祭・クリーン活動で活躍！

校長 川窪 公夫

風薫る5月、永山丘陵の新緑が鮮やかな季節を迎えています。ゴールデンウイークには、4年ぶりとなる青梅大祭が行われ、長引くコロナ禍を吹き飛ばす賑わいとなりました。多くの一中生がお囃子や手古舞をはじめ、各町内のお手伝いなど地域の伝統行事を支える活躍を見せてくれました。きっと、胸の高鳴りを忘れず、歴史と伝統ある青梅大祭を継承してけると期待します。教職員も2日・3日で述べ25名が青梅大祭の賑わいを楽しませていただきました。元気の良いあいさつをしてくれる子、気さくに話しかけてくれる子、真剣な表情でお囃子に向かっている子、普段、学校では見られない生徒の姿に触れることができ、先生方も新しい発見をすることができました。初めて、青梅大祭に足を運んだ先生は、「大きなお祭りだとは聞いていましたが、あまりにも多くの人出と賑わいに驚きました。」と語っていました。

また、たくさんの方の保護者・地域の皆様、卒業生、そして、懐かしい方々にお会いでき、有意義な時間となりました。

クリーン活動 青梅大祭翌日の4日には、ボランティア活動の一環として、22名の一中生と教員11名が参加し、地域の方々とゴミ拾いを行いました。これは、一中生も楽しんでいる青梅大祭への恩返しとして、10年以上前に始まった地域貢献活動です。7時45分に文化交流センターの駐車場に集合しました。大祭本部の方から御紹介をいただいた後、生徒会長の藤倉真央さんが下に記載のあいさつをすると地域の方々から大きな拍手が沸き起こりました。

皆さん、おはようございます。昨日の青梅大祭はどうでしたか。今日のクリーン活動では、皆で協力して青梅駅周辺から清掃していきます。4年ぶりに青梅大祭が開催され、皆さんもクリーン活動が初めての人が多いと思います。チームで協力して、青梅をきれいにしていきますよ。

1時間余りの活動でしたが、自販機の裏や側溝の中までゴミ拾いをしてもらえるなど一生懸命に取り組んでくれました。終了後は、地域の方々より御礼の言葉とともに、ペットボトルのお茶と記念のクリアファイルをいただきました。暑い中、ありがとうございました。

前期生徒総会 ーみんなで創り上げる学校 振る舞い 輝く ー一中生！を目指してー

5月8日(月)の6校時、前期生徒総会がありました。生徒会、学級委員会、生活・整美・図書・視聴覚・健康委員会の活動方針を審議し、承認を得る大切な会です。事前に学級で活動計画(案)を読み込んで質問を考えたり、生徒会や各委員会ですら質問に対する回答を検討したりして、会に臨みました。

当日は提案者が活動計画(案)を説明し、事前質問だけでなくその場でも質問が出るなど、3ない運動×SDGs(青梅一中ver.)に基づいた活発な議論が交わされました。質問には要望も

(裏面に続く)